事例No.	2563
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	特定非営利活動法人　尾道空き家再生プロジェクト

事例区分	地域活性化

タグ	・公共施設活用 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

特定非営利活動法人　尾道空き家再生プロジェクト

出典

平成26年度ふるさとづくり大賞事例集

特定非営利活動法人　尾道空き家再生プロジェクト　広島県尾道市

概　　要

尾道の旧市街地は、尾道市を代表する眺望景観を有する地域であり、同市も景観地区に指定する等、景観の保全・形成に取り組んでいる。当団体は、自身での再生活動に加え、市の「尾道市空き家バンク」に市と協働で取り組み、多くの空き家の活用を促進してきた。また、イベントや商店街の空き家を再生したゲストハウスの運営などを通じて、交流促進による地域活性化にも貢献している。



評価された点

・自発的な活動から長年にわたって継続的に活動をすすめている。
・全国的に大きな課題となっている空き家を地域の資源として捉え直し、旧市街地の街並みや景観の保全につなげて新たな観光資源にしたり、新たなコミュニティづくりの核として活用したりして、地域の活性化につなげており、全国の空き家再生のモデルになる取組みとして高く評価される。
・空き家バンクの成功モデルであり、地域活性化に寄与している。
・単なる空き家バンクにとどまらず、さまざまな人や組織との連携を通じて、交流拠点としての展開を図っている。
・空き家の多様な活用の推進は、他地域の参考となる好事例。



おららの炭小屋「奥木頭炭焼き保存伝承会」　徳島県那賀町

概　　要

かつての山の生活文化を再現し、伝える「協働の場」を設けるために始めた。身近な自然を利用する知恵と知識を実践的に伝えるため、毎月１回の定例炭焼きワークショップや地元小中学生、インターン学生、町内外の団体（子ども会、社協、自然観察団体、NPO/NGO、高校）に対して体験型環境教育活動（木頭杉一本乗り、木挽き、木工竹細工、薪割りなど）を実施している。



評価された点

・山の生活、山の仕事、山の暮らしの知恵、様々な地域に永年に渡り蓄積された地域資源を次世代へとバトンタッチさせる貴重な活動である。また、幅広い世代を対象としながら、丁寧に取り組まれており、定着している点を評価し、引き続き期待。
・一見些細な事に見えるが、昔の知恵を活かすのはとても大切。古きを訪ねて新しきを知る。
・山の生活文化を再現し、知恵を伝えるために、町内外からの若者に定例的な体験型環境学習を行っている。地域資源（文化）をいかに伝え、共有していくかが問われる中、このような実践は参考となる。
・山の文化を伝える、体験型環境教育を定期的に実施している。

